



緑づくりの これまでの取組

【緑化の振興に関わる取組】

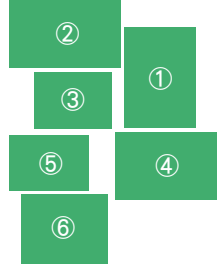
●花と緑いっぱい運動(写真①)・園芸市(写真②)●花と緑の講演会、園芸教室、洋ラン教室●花いっぱいコンクール●花いっぱい写真展●水と緑の絵ポスター展●水と緑のふれあい基金●緑の羽根募金など((財)千歳市緑化協会を通じて行っています)

【河川の整備に関わる取組】

●ママチ川(写真③)●サーモンパーク(写真④)●勇舞川●林東公園など

【公園緑地の整備に関わる取組】

●遺跡公園(写真⑤)●勇舞すこやか公園(写真⑥)●青葉公園●アンカレジパーク●メムシ公園●北信濃防風林など

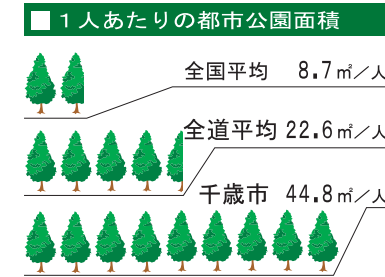


●「緑の基本計画」とは

都市緑地法第4条(緑地の保全及び緑化の推進に関する基本計画)にもとづく計画。計画対象には、公園、河川などの公共施設はもとより、民間の工場・事業所敷地や民有林なども含まれます。

“緑とオープン スペース”の役割

人の手の入っていない自然の緑も大切ですが、一人ひとりが健康で心豊かな生活を営むためには、スポーツやレクリエーション、コミュニティ活動の場となる、**緑に包まれたオープンスペース**が生活の身近なところが必要です。
そして、緑とオープンスペースには、災害時の避難場所や活動拠点としての役割、火災が広がるのを防ぐ防災機能もあります。また、市民の「憩いの場」としても欠くことのできないものでしょう。
これらを充実していくためには、行政が公園、緑地、河川の整備を進めるほか、身近な緑を個人や事業者、そして地域でもより、育てることが大切です。
最近のまちづくりでは、町内会活動やNPO法人、事業者などが連携し、積極的に緑づくりに取り組むことが期待されています。



千歳市内の土地利用状況は、山林(53・1%)、池沼(16・6%)、畑(11・8%)と、緑が占める割合は約8割となっており、宅地は2・8%にとどまっています。
広大な支笏湖周辺の国立公園などを除く「都市公園」だけでも、1人あたりの面積にすると、上の図のとおり、全国・全道平均よりも、大きく上回っていることがわかります。

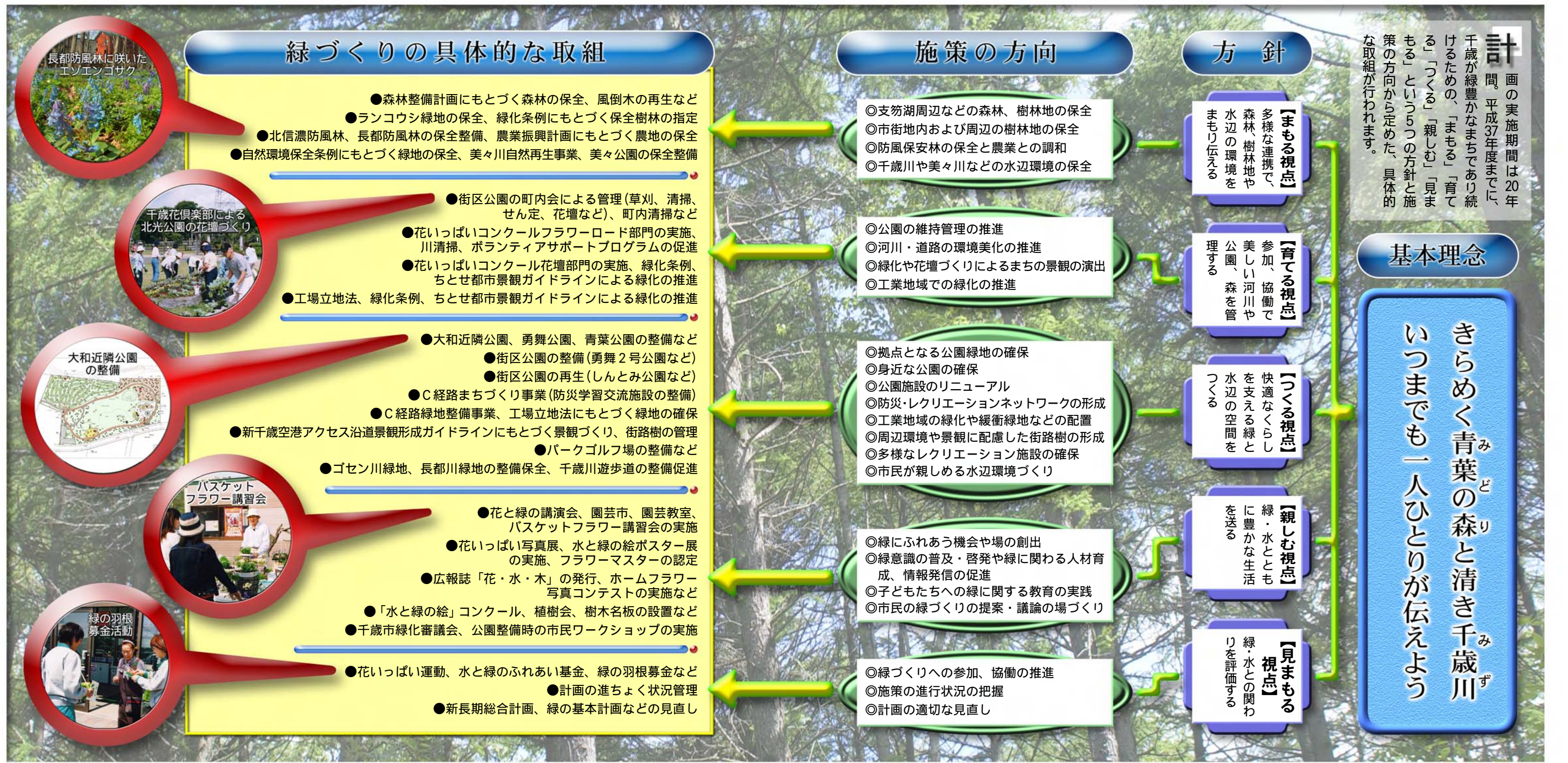
さあ、いっしょに行こう。
緑のまちへ。

【特集】 緑のまちへ向かえ! 「千歳市緑の基本計画」をつくりました

忘れていませんか? 千歳は「緑の宝庫」であることを

緑は、子どもたちの豊かな心と感性を育て、快適でうるおいのある生活環境をつくる市民共通の財産です。
地球温暖化といった環境問題も含め、都市の緑を取り巻く環境は年々厳しくなりつつありますが、私たちの千歳は、中でも恵まれた環境にあります。

「やっぱり『緑』っていいね...」
山や川、郊外に「緑」を求めて、出かける機会が多い季節です。誰もが「緑」に「豊かさ」や「癒し」を感じ、親しみや好感を持っているのではないのでしょうか。
遠くに出かけなくても、身近に緑を感じられる生活をおくりたいと思いませんか?
「行政」「事業者」「市民」が「丸」となって「緑づくり」に取り組めば、千歳はよりいっそう、魅力的なまちになることでしょう。
市は、市民の皆さんといっしょに、緑豊かなまちづくりを進めるため、6月に、新しい「千歳市緑の基本計画」をつくりました。
今月の特集では、計画のあらましを通じて、「緑のまち」へ向けた取組をご紹介します。



計画の内容は、市のホームページからもご覧いただけます。ぜひご意見をお寄せください。

お問い合わせは……
建設部都市整備課
緑の係へ
☎(24)0696

普段、私たちがくらしの中で目とめる緑。そのほとんどは、人の手でつくられた緑です。
近所のガーデニングや道ばたの花壇はもちろんのこと、郊外に広がる美しい田園風景さえ、先人の手によって生まれ、現在へと受け継がれてきたものです。
緑に「美しい」と思う気持ちや、「癒し」を感じられるのは、そういった人の手のぬくもりが含まれているからではないでしょうか。
今回ご紹介した計画には、市民の参加や協力が必要なものも多く含まれています。
計画を旗印に、私たち一人ひとりの手で、千歳の恵まれた財産をまもり、そして新しい「緑」を育みながら、子どもたちへと受け継いでいきたいと思います。

まずは、ご家庭の玄関に緑をそえることから始めませんか？
一つひとつは小さくても、地域を、やがては千歳を彩る景観につながるでしょう。

(仮称)緑バンク
市民主体の運営のもとで、市民が持ち寄った花の苗や種を預かり、育て、収穫し、その結果増えた種などを、ほかの市民・団体などに提供し、広げていく仕組みです。

市民連絡会議
市民参加の基盤となる組織。緑に関するさまざまな市民活動の情報交換などを行います。

(仮称)緑づくりセンター
花や緑づくりに取り組む方々の交流や情報交換の場。また、指導者の育成や研修を行う場としての総合的な施設です。

上の表で紹介した具体的な取組のほかに、緑づくりへの皆さんの参加や、協働での取組を進めていくために、つぎの3つの事業を検討します。

そのほかの取組